

国際ジャーナル投稿に向けた

英語論文改善ワークショップ

2015年 8月19日(水)・20日(木)・21日(金)
9:00－17:00 9:00－17:00 9:00－17:00

会場 本部構内 総合研究2号館 4階
大学院アジア・アフリカ地域研究研究科会議室 (447号室)

よりレベルの高い国際学術雑誌への投稿を目指す研究者、特に英語による論文作成の経験が浅い若手研究者を対象に、「英語論文改善ワークショップ」を開催します。

「講義＋ワークショップ＋個別指導」の構成で、豊富な英語論文校正の経験をもつ講師から、英語論文を書く際のノウハウや、国際学術雑誌等への投稿の際のマナーやコツなどを伝授していただきます。奮ってご参加下さい！

主催：京都大学 学術研究支援室
協力：大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

講師（予定）

Andrew Jackson, Ph.D.

エダンズグループ・シニアエディター
PhD Chemistry, University of
Queensland, Australia

Kate Harris, Ph.D.

エダンズグループ・シニアエディター
PhD Chemistry, University of Basel,
Switzerland

受講資格

本学に在籍する研究者・日本学術振興会特別研究員・博士後期課程の大学院生で、現在英語の論文ドラフトをお持ちの方。3日間全てのワークショップに出席できる方。
※事前にドラフトを校閲者へ送付し、ワークショップ当日はその添削をもとに個別指導が進行します。なお、添削は各論文ドラフトの専門分野に近い校閲者が行います。

定員

20名（応募者多数の場合、選考）

受講料

無料

応募方法

下記URLにある募集要項をお読みの上、申請書フォームと論文ドラフトを募集要項に記載された申込み先までメールにてお送り下さい。
URL : <http://kura.kyoto-u.ac.jp/migaki-ws/>

応募期間

平成27年 7月13日(月) 9:00 ～ 7月17日(金) 17:00
※応募期間以外での申込みは受け付けられませんので、ご注意ください。

問合せ

学術研究支援室 「英語論文改善ワークショップ」担当（若松、天野、森下）
proofreading@kura.kyoto-u.ac.jp 075-753-5163（内線 16-5163）
※できるだけメールでお問い合わせください。

プログラム（予定）

1日目

09:00 -10:00	Academic publishing	13:30 -14:00	Professional writing skills
10:00 -10:20	Group activities	14:00 -15:30	Effective writing
10:20 -10:40	Q&A and break	15:30 -15:50	Q&A and break
10:40 -11:40	Publication ethics	15:50 -16:40	Group activities
11:40 -12:15	Group activities	16:40 -17:00	Summary and Q&A

2日目

09:00 -09:50	Methods, Results, and Figures	13:20 -13:50	Titles and Abstracts
09:50 -10:20	Group activities	13:50 -14:10	Group activities
10:20 -10:40	Q&A and break	14:10 -14:20	Summary and Q&A
10:40 -11:40	Introductions and Discussions	14:30 -17:00	One-on-one consultations
11:40 -12:10	Group activities		

3日目

09:00 -09:40	Journal selection	13:00 -13:40	Navigating peer review
09:40 -10:20	Group activities	13:40 -14:10	Group activities
10:20 -10:40	Q&A and break	14:10 -14:30	Summary and Q&A
10:40 -11:20	Cover letters	14:30 -17:00	One-on-one consultations
11:20 -11:50	Group activities		
11:50 -12:00	Q&A		

講師プロフィール

Dr Andrew Jackson : エダンズ シニアエディター

2013 – PhD Chemistry, University of Queensland, Australia

2008 – MChem Chemistry, University of Oxford, UK (1st class)



材料科学に関して大学および企業で国際的に研究を積んだ化学者。オックスフォード大学では、C-H活性化および有機金属触媒反応を主に研究し、京都大学でも同領域の研究を継続。企業で試薬の新しい合成法の開発に携わったのち、オーストラリアのクイーンズランド大学の博士課程に入り、Centre for Organic Photonics and Electronics (COPE) で研究を実施。ここでの研究は、ナノ結晶／有機複合材料の合成および特性分析、ならびに物質のオプトエレクトロニクス応用に焦点を当てる。COPEで研究中に、有機発光ダイオード用の新規高分子の開発、および水分解用のナノ結晶触媒の開発に携わる。化学および材料科学の専門知識・技術を活かして、2013年にシニアエディターとして福岡オフィスに加入。

Dr Kate Harris : エダンズ シニアエディター

2010 – PhD Chemistry, University of Basel, Switzerland

2005 – MChem Chemistry with a Year in Europe, University of Edinburgh, UK



超分子および錯体化学で博士号を取得。NMR スペクトロスコピー、特に拡散法、常磁性化合物の NMR スペクトルの測定および解析の専門知識が豊富。卒業後 2 年間、東京大学で大型自己組織化球状錯体の非共有結合性機能化を研究。研究成果を「Journal of the American Chemical Society」、「Chemical Communications」等の国際誌数誌で発表し、国内外の学会で研究発表を行う。博士課程時には「Polyhedron」誌の編集アシスタントを務める。またフリーランスで非英語話者の執筆した論文の校正も務め、そのなかには「ChemPhysChem」誌にアクセプトされたものもある。2014 年 12 月に社内シニアエディターとして福岡オフィスに加入。

KURA